

K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！ 脇見・車間距離不保持による 追突

Y

事故を未然に防ぐために、予測される危険や危険を避けるための運転について考えてみましょう。



Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



交通 状況

- 急ぎの依頼があり、制限速度を守りながら配送先に向かっていきます。
- Y字路交差点に差ししかかるところで、前方左側の歩道に複数の作業員が見えました。
- “作業員がこの場所で何をしているのか？”と気になりました。

A

このような危険が！



追突の危険

- ・作業員に気をとられ注視をすると、脇見運転になる。
 - ・先行車の減速に気付くのが遅れる。
 - ・制限速度内でも先行車との車間距離が短いと、とっさの回避行動がとれない。
- ★時速40キロで走行していた場合、2秒間で「約22m」も進む。



このような運転を！



脇見運転をしない



“だろろう”運転をしない

こんなところで“前車は減速しないだろろう”という思い込みをしない。



車間距離をとる

急いでも車間距離を十分にとる。継続的な車間距離不保持は「あおり運転」となることも。

“思い込み”は追突事故を誘発する一因に

「脇見」は、直線における追突事故の最も多い人的要因です。そして「脇見」を誘発するのが、“前車は減速しない”といった「思い込み」です。